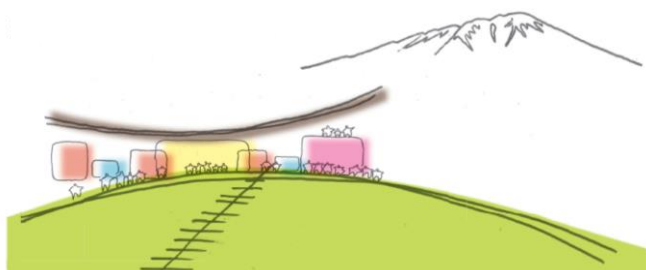


住民が集う場として、大屋根の下、麓に出来た集落のように顔を出す様々な交流施設がにぎわいをつくります。



ROOF NEWS Vol.12

※屋根の英単語 ROOF をとり、タイトルとしました。

平成 27.2.18 滝沢市（交流拠点整備室）

ROOF1 杭工事が完了しました。

交流拠点複合施設の起工式が行われてから5か月が経過しました。季節は、真っ白な白銀の世界となりましたが、杭工事が着々と行われました。

杭工事は、「プレボーリング拡大根固め工法」という工法で、掘削機で地中深く穴を開け、工場で作成されたコンクリート製の杭をその穴に建込する工法です。

現場は、約30mを超えた深い地盤が支持層となっており、その深さまで穴を掘ります。途中、土の中には予想しなかった岩石の塊などもあり、苦戦しながらの作業となりましたが、2/9に無事114本の杭の施工が完了しました。今年は、比較的雪も少なく、次の工事のスケジュールに予定通り進んでいます。



杭工事の様子

ROOF2 施工打ち合わせ、施工図の作成

杭工事が進んでいる間も、杭工事以外の準備が着々と進められています。現場事務所では、市担当者、設計者、監理者、施工者などの間で、設計図を基に作成された施工計画書・施工図・製作図などにより打ち合わせが進められています。打ち合わせは夜遅くまで続くこともあります。

承認された製作図をもとに工場で作られた鉄骨やサッシ等の製品が作られ、それらが施工図をもとに現場で組み立てられながら建物が作られていきます。



地中の岩石、大変苦労しました(* *)

ROOF3 これからの工事スケジュール

杭工事の次は、基礎、1階床、地下ピットのコンクリート工事を行い、その後、鉄骨建方に入り年内には屋根工事まで進む予定です。安全第一に、市民の皆さんのご期待に添える、楽しい施設を目指し、工事を進めていきます。

ROOF4 まとめ

これから、いよいよ建物の構造体が地上に現れてきます。敷地の前を通るたびに建物が建ち上がっていく様子を見ることができるようになりますので、楽しみにしてください。今回は、鉄骨建方の様子をご案内します。



現在の敷地の様子